

令和4年度 入札監視委員会議事概要

北関東防衛局

開催日及び場所	令和5年3月2日(木) さいたま新都心合同庁舎2号館7階A・B会議室		
委員 (音順)	岩谷 眞 (不動産鑑定士) 中里 浩 (大学教授)	長内 温子 (公認会計士) 三谷 和歌子 (弁護士)	菊池 喜昭 (大学教授)

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 (北関東防衛局は令和4年10月1日～同年12月31日)		
審議対象件数	77 件		
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数		7 件	審議概要
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0 件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	5 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等		2 件	
意見・質問		回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【報告事項】 ○指名停止状況について [特に意見なし] ○契約状況について [特に意見なし]		
	【抽出案件】 ○ 建設工事[一般競争入札](政府調達協定対象外) (1) 隊舎排水管補修 (海上自衛隊 館山航空基地隊)		【報告事項】 ・ 指名停止措置状況について ・ 契約状況について 【抽出案件】 ・ 建設工事、建設コンサルタント業務等 (1)～(2) 海上自衛隊 (3)～(7) 北関東防衛局
	・ 1者応札かつ高落札率になったが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。 ・ 発注者として、応札者を広く募るための方策を検討しているか。	・ 基地が千葉県南端に所在することから競争参加者数が少ない中、令和元年度の台風被害の復旧工事に人員を割かれたため、1者応札になったものと考ええる。 また、唯一の資格確認申請があった本工事受注者からの見積りを用いて予定価格を算定したため高落札率になったと考えられる。 ・ 地域の特性上、館山所在の業者を第1と考えるが、次に千葉県内、さらには県外の実績のある業者へ声掛けする等の検討を考えていく。	
○ 建設工事[一般競争入札](政府調達協定対象外) (2) 汚水管等補修 (海上自衛隊 下総航空基地隊)		・ 1者応札かつ高落札率になったが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。 ・ 調査及び諸事情により入札時期が年末年始となったが、より競争性が確保できる時期に入札期間を設定すべきである。	・ 補修工事に必要な事前調査等に不測の日時を要し、入札時期が建設業界の繁忙時期である年末年始となったため、1者応札になったものと考ええる。 また、公共建築工事積算基準(標準資料)の積算価格と本工事受注者からの見積価格とを比較し、安価な見積価格を用いて予定価格を算定したため高落札率になったと考えられる。 ・ 関係者と調達要求の情報の共有を図り適切な時期での入札を行うよう調整する。

○ 建設工事〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外)
(3) 下総外(4)整備場新設等電気その他工事 (北関東防衛局 調達部)

・ 1者応札かつ高落札率になった要因をどのように分析しているか。

・ 当局HPに公表している仕様書は十数者が閲覧し、4者からの入札への申請があったが、3者が辞退する結果となった。
 辞退理由を聞き取りしたところ、他事案のほうが工事規模が大きかった、他事案の受注が先に決定した、会社が得意とする分野で利益率の大きくなる工事の受注が先に決まった、等により技術者の確保が出来なくなったためとのことであった。

○ 建設工事〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外)
(4) 硫黄島(4)給水施設等整備土木その他工事 (北関東防衛局 調達部)

・ 同一者のみによる高落札率が継続しているが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。

・ 離島での工事経験者に入札に参加しない理由を聞き取りしたところ、民間人が居住していない硫黄島での工事は、施工体制の構築から始めなければならない事から、参入を見送っているとのこと。
 また、唯一の入札参加者である受注者からの見積りを参考に予定価格を算定しているため高落札率になったと考える。

・ 硫黄島では特定の者が仮設施設を独占状態で使用できるので他社が参加できないのではないのか。

・ 幅広く参入者を募るため、工事発注仕様書では硫黄島での工事を受注した者は、仮設施設を使用できる旨を明記していることから、特定の者が独占状態で使用する仕組みはない。

・ 受注者が構築した施工体制は、他者が容易に構築することは難しいのか。

・ 民間人が居住せず港湾施設もない硫黄島での工事には、大型の輸送船を長期間チャーターする必要があり、内地の出港場所における港湾調整等の建設工事以外の労力を伴い、さらに、工事期間中、長期間、作業員を島内に拘束するための下請けとの調整が不可欠である。

これらのノウハウは他のマリコンも保有しているものと推測するが、輸送船の目的地によって特定の船舶会社との関係があるものと考ええる。

これらの諸々の事情が他者が参入しづらい要因であると考ええる。

・ その様な実情が有るのであれば、随意契約にすべきではないのか。

・ 受注形態によっては、他者が参入する余地を否定できないため、会計制度上、一般競争入札によらざるを得ないと考ええる。

○ 建設工事〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外)
(5) 朝霞(4)広報センター等改修電気工事 (北関東防衛局 調達部)

・ 1者応札かつ高落札率になったが、他者が参加しない又はできない要因は何か。

・ 当局HPに公表した仕様書を閲覧し、入札に参加しなかった者に聞き取りしたところ、展示物等障害物があること及び施設運用中の工事であったため、参加を見送ったとのこと。また、これらの制約状況下の工事であることを踏まえ、複数回に及ぶ入札を経たことから高落札率になったと考える。

○ 建設コンサルタント等業務〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外)
(6) 下総外(4)宿舎改修等土木設計 (北関東防衛局 調達部)

・ 1者応札かつ高落札率になった理由は何か。

・ 2者から申請があったが、1者から配置予定の技術者を他事案に配置したため、入札を辞退するとの申し出があったため1者応札になった。また、複数回に及ぶ入札を経たことから高落札率になったと考える。

○ 委員からの意見・質問

○ それに対する回答等

○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	○建設コンサルタント等業務〔一般競争入札〕(政府調達協定対象外) (7) 新島(4) 浸食対策等土木調査検討 (北関東防衛局 調達部)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・同一者のみによる高落札率が1年間隔で生起しているが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。 ・長期に亘り、特定の1者が応札と受注が継続し、近年、複数者から見積りを徴取するものの、特定の1者以外の者は応札に参加しない状況が継続しているが、この状態を様々な観点から検討・分析すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見積りを提出し、入札参加を見合わせた者へ聞き取りしたところ、配置する技術者が確保できなかったとのこと。 また、本業務のうち浸食対策調査検討は3者からの見積りの安価な価格を提示した受注者の見積りを参考にし、その他の測量及び土質調査は、公表されている積算基準及び技術者単価によって予定価格を算定したことから高落札率になったと考える。 ・競争性を高めるため、幅広い者から見積り徴取して積極的な入札を促すなど、長期に亘る1者応札状況の改善に取り組む。
2.談合疑義案件の処理状況について 報告なし		
3.入札結果の事後的・統計的分析結果について(公正入札調査会議への報告内容の確認等)		
審議概要	・順位傾向、落札率・応札率、調査項目別の平均落札率等、低入札／不調事案の分析	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・ 特になし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・ 特になし	
4.再苦情処理(再説明請求回答)	・ 該当案件なし	

令和4年度 入札監視委員会議事概要

北関東防衛局

開催日及び場所	令和5年3月2日(木) さいたま新都心合同庁舎2号館7階A・B会議室		
委員 (音順)	岩谷 眞 (不動産鑑定士) 中里 浩 (大学教授)	長内 温子 (公認会計士) 三谷 和歌子 (弁護士)	菊池 喜昭 (大学教授)

II 契約実施機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日
審議対象件数	3,031 件

1.入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	7 件	審 議 概 要	【抽出案件】 (1) 防衛研究所 (2)~(7) 海上自衛隊
一般競争	5 件		
指名競争	1 件		
随意契約	1 件		

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】 ○ 指名競争(公募) (1) 『東アジア戦略概観2022』日本語版の刊行 (防衛研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一者のみによる1者応札が継続しているが、他者が参加しない又はできない要因をどのように分析しているか。 同一者による1者応札状況を改善させるための検討はなされているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 落札実績額と役務内容を踏まえた結果、受注者として十分な利益を見込めない及び発注者等との調整のため原稿確定に時間を要し納期まで柔軟な対応が困難等の理由で応札者が限定されているものとする。 仕様書上、役務の一部を第三者に委託できるようにするなど柔軟な記載ができないか、本刊行物の性格・性質を踏まえつつ校閲・校正の役務内容の見直しができないかなど検討が必要であるとする。
	<p>○ 一般競争入札 (2) 電気・ボイラー設備保守管理業務の委託 (海上自衛隊 館山航空基地隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1者応札かつ高落札率になったが、他者が参加しない又はできなかった理由は何か。 同一者による受注が継続しているが、競争性は確保されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 近年、2者が入札に参加していたが、令和3年度は1者が技術管理者の手配が出来ないため、入札参加を見送ったことから1者応札となった。 また、例年の設備保守管理業務であり、受注経験のある者は予定価格の類推が可能であるため高落札率になったものとする。 令和3年度以外は複数の者が入札に参加しており、令和4年度は他者が受注していることから、競争性は確保されているとする。
	<p>○ 一般競争入札 (3) ICカード身分証明書(海上自衛隊)幹部・准尉自衛官用 以下 (海上自衛隊 東京業務隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一者のみによる1者応札が継続しているが、他者が参加しない又はできない要因は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ICカード身分証明書の導入当初、海上自衛隊のシステムやセキュリティーで使用するアプリケーションが、受注者の非開示としている既製品を使用することとしたことから、他者は受注できない。

	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年5月に会計検査院が「政府情報システムに関する会計検査の結果について」報告しており、ベンダーロックイン等により競争契約事案の約74%が1者応札であったことから、「競争を阻害しないような仕様とするなどの工夫により競争性、経済性の向上を図ること」とする旨の所見が示されている。 本件報告の趣旨を踏まえ、1者応札状況の改善に取り組むべきである。 数千万円規模の業務であるにも関わらず、入札金額が千円単位まで予定価格と一致することは極めて不自然と考えるが、是正すべきではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在のアプリケーションを使用している施設改修等諸問題はあるが、現状を改善するよう検討する。 身分証明書の発行枚数による希望小売価格が設定され、価格表で見積価格を確認し、見積価格と発注実績から落札比率を用いて予定価格を算定しているが、長年の受注経験から予定価格の類推が可能となっていると考える。 物品購入として発注していることから見積価格の査定が困難な状況ではあるが、見積価格の内容を精査してまいりたい。
○ 委員からの意見・質問	○ 一般競争入札 (4) 泡消火薬剤等の更新（海上自衛隊 下総航空基地隊） <ul style="list-style-type: none"> 1者応札かつ高落札率になった理由は何か。 5者が入札への参加を申請したにもかかわらず、受注者以外の者が辞退した理由を確認したか。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定業者製の泡消火機器の部品交換が、本件受託者に限定されていたため1者応札となった。 また、本件業務は市場性が低く、唯一、見積りの提出が可能であった受注者の見積りを参考にして予定価格を算定したため、高落札率になった。 受注以外の4者は、本件業務を当該特定業者の支援が得られれば、受注可能としていたが、支援を得ることが困難であったため、入札への参加を辞退したとのことであった。
○ それに対する回答等	○ 一般競争入札 (5) 板ばさみ B4-E 以下（海上自衛隊 東京業務隊） <ul style="list-style-type: none"> 1者応札かつ高落札率になった理由は何か。 今後、競争性を高めるために、どのような検討がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 海上自衛隊の市ヶ谷地区部隊の事務用消耗品を調達する業務であるが、事業規模が小さいことから採算性が悪いとの理由で受注者以外の者が辞退したため、1者応札となった。 また、受注者から提出された見積価格を参考に予定価格を算出しているため、高落札率になった。 入札への参加者を増やすためには、発注ロットの拡大が必要であり、事務用消耗品の調達を全国規模にする上で艦艇部隊への対応等も含めて検討している。
	○ 一般競争入札 (6) 吸収冷凍機等点検（海上自衛隊 下総航空基地隊） <ul style="list-style-type: none"> 同一者のみによる高落札が継続している理由は何か。 令和4年度は、応札者が増え、落札率も低下しているため、引き続き努力を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本件は年間の点検業務であることから、一般の商業施設においても契約時期が年度当初となることから予測され、同業他社が既に別案件を受注していることにより、入札への参加が限定されているものと考えられる。 また、同一施設で同一業務を毎年発注していることにより、応札額が予定価格に近づいてきたことから、高落札率になってきたものと考えられる。 引き続き、声掛け等を実施し、競争性の確保に努めたい。

<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>○ 随意契約(公募)</p> <p>(7) ソナーテストベンチ巻上げ機試験装置の点検整備 (海上自衛隊 館山航空基地隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同一者のみによる高落札が継続しているが、他者が参加しない又はできない理由は何か。 ・ 装備品の製造業者と唯一の本件業務受注者が技術援助契約を締結しているが、製造業者が合理的な条件の下で、技術援助契約の適格者の枠を広げない限り競争性は確保できないが、発注者から製造業者に促すことはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は、装備品の点検整備、作動試験等であり、装備品の製造業者と唯一の本件業務受注者が技術援助契約を締結しているため、公募合格者が本件受注者に限定されている。 また、業務内容に市場性が無く、積算基準等が無いため、本件受注者が提出する見積価格を参考に予定価格を算定しているため、高落札率になる。 ・ 製造業者と特定の者との技術援助契約は、両者間の諸事情に基づくものと推測される中、発注者として、入札の競争性の向上は否定するものではないが、企業の資産的情報を他者にも広げることを促す立場にはないものと考えている。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>・ な し</p>	
<p>2.談合情報案件の処理状況について</p>	<p>・ 該当案件なし</p>	
<p>3.再苦情処理</p>	<p>・ 該当案件なし</p>	